



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：鈴木 東雄 幹事：坂本 佳友 発行：会報・広報委員会

第 2939 例会 (18号) 2014 年 11 月 6 日 (木) 晴れ

ロータリー財団委員会担当卓話 SPEECH

「ロータリー財団について」

国際ロータリー第 2530 地区ロータリー財団委員会
副委員長 橋本 芳 家 様



11月はロータリー財団月間です。6代目の R I 会長であるアーチ・クラフがロータリー財団の提唱者です。年次基金でも恒久基金でも結構ですので、累積で25万ドルを寄付すると財団本部に顔写真と経歴が飾られます。昨年は9人です。1万ドルはメジャードナーの資格となります。田中作次元 R I 会長は累積で100万ドルを寄付しています。

「ロータリーの友」の今月号の33ページには、当地区から山崎栄一パストガバナーが功労表彰状の受賞者として紹介されています。累積で3万ドルですが、今回は第1ゾーンの恒久基金の委員を務めた功績での受賞であると思います。

寄付には、自由に使ってもいいという寄付と、使い方を決めた寄付があります。年次基金は自由に使えます。原資は使わずに、利息を使うのが恒久基金です。集まったお金は3年間、財団で運用します。3年後に、2分の1を地区に戻します。第2530地区は、おおよそ、年次基金が23万~24万ドル、2,300万~2,400万円を送っています。年利回りは4%近くあり、税金を引かれた分の運用益の2分の1と、地区から送られたお金の2分の1、つまり、1,200万円ぐらいが地区で3年後に使えるお金として戻ってきます。戻ってくるお金の半分の約600万円が地区で自由に使えます。そのうちの約200万円を財団の奨学生の資金として支給しています。

残りの3万~4万ドルは地区のロータリーの社会奉仕事業に使えるように分配しています。今年は12月に財団の研修があり、そこに財団の委員長、会長・幹事などが出席し、覚書を交わすことが受給資格となります。地区全部のクラブで分け合うと、金額は小さくなります。財団としては、最低限、クラブで2分の1を持ち出してくださいとお願いしています。来年3月までに事業案を出してもらい、使うのは次年度になります。

そして、R I に寄付した中の残りの6万ドルについ

ては、グローバル補助金に使うことが昨年から、決まりました。財団提唱の1917年から数えて、100年が2017年になります。R I は「未来の夢計画」を出し、6つの重点分野に沿った使い方を掲げています。「平和と紛争予防・解決」「疾病予防と治療」「経済開発と地域開発」などです。しかし、日本国内では使えないのではないかと感じています。また、もう1つのハードルは、日本以外の外国のクラブを巻き込む必要があります。今月号の「ロータリーの友」に、神戸の芦屋ロータリークラブを中心とした7クラブによる、インドへのインフラ整備などの取り組みが紹介されています。

補助金の使い方の難しさなどの理由で、第2530地区は、まだ、この補助金を使っていません。今年7月に、田中元 R I 会長が所属している群馬県の第2840地区から「日本国内で補助金を使えないか。特に福島県で使えないか」とのオファーがありました。案件を募集したところ、いわき市では、小名浜の団体である「ピープル」が綿花を栽培し、その綿花を摘む作業をしている人が、相双地方から避難してきた女性や、津波で被災した女性が参加しているそうです。作業に使う小屋などを整備したり、製品化する取り組みを支援できないか、との話を頂きました。私が地区に申請しました。このほか、原町の治安維持の取り組みと合わせ、群馬県の方が視察し、この2つを一緒にやりたいとのオファーがありました。ピープルは、いわき小名浜ロータリークラブの近くにありますが、1クラブでは手に負えないので、第2530地区がどのようにバックアップするかを実行委員会の会議などで協議したいと思います。地区で御膳立てするのであれば、いわきの10クラブが合同で取り組む方法もあるかと思っています。

グローバル補助金は、群馬県の地区が仮に3万ドルを出すとすれば、第2530地区は頂く側なのでゼロでもいいのですが、仮に1万ドルを出せば、4万ドルになりますが、その30%である1万2千ドルを外国から見つける必要があります。合計5万2千ドルの原資となれば、R I は同じ金額を出してくれます。この補助金は随時申請であり、申請があれば、6カ月以内に結論を出すこととなります。当面は、今後、8年間の事業ですので、皆様の中から、案件があれば、積極的に出してほしいと思います。このほか、短期間の職業的奉仕団の派遣受け入れもあります。名古屋ではグローバル補助金で医師をオーストラリアの病院に派遣している例があります。ただ、当地区ではまだ使っていません。

皆様から大事なお金を寄付して頂いていますので、工夫してグローバル補助金を使いたいと思います。



2014~2015年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

LIGHT UP ROTARY

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：坂本幹事

〔点鐘・国歌斉唱・ロータリーソング（我らの生業）・ロータリーの目的（安田信二会員）・四つのテスト（新田俊彦会員）〕

安田信二会員



新田俊彦会員



◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

国際ロータリー第2530地区ロータリー財団委員会
副委員長 橋本芳家様
(いわき常磐ロータリークラブ会員)

★結婚祝



八幡恭朗さん
(11月6日)



関口武司さん
(11月8日)

◆会長挨拶ならびに報告



今月はロータリー財団の月であり、いわき常磐ロータリークラブの橋本様に卓話をお願い申し上げます。

10月の「ロータリーの友」で、高知県立植物園の研究員の方が、身近な薬用植物を紹介しています。漢方は基本的に中国で開発され、日本で独自に発展しました。奈良時代には薬用植物が納税の代わりに使われたと書かれています。日本の漢方の約9割は輸入で、メインは中国ですが、中国の悪天候や人件費の高騰、また、薬を作る人が減っていることもあって、漢方薬は高くなっているそうです。漢方が有益であるという論文もあり、使われる方が増える一方で、生産が減るなどの状況があるようです。

最近では脱法ドラッグ、危険ドラッグなどが新聞に出っていますが、それによる事故や事件が起きていると伝えられています。県や市、国、各機関による講習会が開かれ、私どもにも出席依頼が来ています。昔は、幻覚を伴う薬用物は宗教的に使われた時代もあったようです。合法、脱法などと一般的に呼ばれているドラッグには依存性、毒性が強い物があり、インターネットなどを通じて販売され、使用した人が意識障害などの問題などを起こしています。非常に危険な物であるということを確認し、撲滅に協力して頂きたいと思っております。

◆幹事報告

- 11月ロータリーレートは106円です。
- いわき勿来ロータリークラブ、いわき小名浜ロータリークラブから11月プログラム予定表が届いています。

委員会報告

◆出席委員会（志賀弘昌委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メークアップ数
11月6日	51名	31名	—

◆ロータリー財団委員会（森雄治委員長）

関口武司さん、松崎浩さん、伊藤盛敏さん、八幡恭朗さん、森雄治さん。以上、5件

◆米山記念奨学会委員会（山野辺倉平委員長）

松崎浩さん、八幡恭朗さん、新妻純男さん、森雄治さん。以上、4件

◆スマイルボックス委員会（薄井親一郎会員）

♥橋本芳家さん（貴クラブの活躍に感謝して）♥鈴木東雄さん（橋本さん卓話よろしく申し上げます）♥関口武司さん（結婚祝ありがとうございます）♥八幡恭朗さん（結婚祝ありがとうございます）♥郡二三子さん（先週お休みさせて頂きました）♥清水俊政さん（クラブよりの御見舞ありがとうございます）♥山野辺倉平さん（清水先生、半年ぶりの出席ありがとうございます）♥佐々木芳弘さん（清水先生お元気そうで）♥森雄治さん（橋本ロータリー財団副委員長を歓迎します）♥志賀弘昌さん（橋本財団副委員長様卓話よろしく）♥三瓶和秀さん（橋本さん卓話よろしく申し上げます）♥松崎倫久さん（橋本財団副委員長卓話よろしくおねがいします）♥黒須幸雄さん（橋本さんようこそ、卓話よろしく申し上げます）

★本日の例会案内 11月13日(木)PM12:30～
会員卓話 片平正夫会員
お食事メニュー＝鯛大根

★次回の例会案内 11月20日(木)PM12:30～
会員卓話 菊田政寛会員
お食事メニュー＝チキンソテー茸のソース温野菜添え